

# 平和力喪失 の時代に 平和を創る ということ・続

池田文佑

富山大学学術研究部教育学系  
(ikedata@edu.u-toyama.ac.jp)

## 3つの 問い ふたたび

「平和」とは何か

なぜ今「平和」をさげぶのか

さげべばよいのか

## 本日の ねらい

「平和について考える」ことに  
さらになじむ

「平和は創るもの」という考えを  
確かなものにする

それでどうやって(進めるの)?

## 「宣言」 の実情

93.2ーそれで平和はどうなったのか

平和宣言を作った時代  
と現代

「つくる」「つかう」「つかむ」

## つかむ

①時代をつかむ  
今はどんな時代か

②問題をつかむ  
私たちは何に苦しんでいるか

③ニーズをつかむ  
私たちは何を求めているか

④どうやってつかむか  
鳥の目、アリの目、魚の目

## つくる

①誰のためにつくるか  
わたしの平和 と わたしたちの平和

②「意味期限」を意識する  
「つくりかえる」をおそれない

③  
どうしても譲れないものは何ですか

## つかう

①行政だけに使わせない  
=「主権者」(は私たちです)

②使い続けることで生まれるもの  
=平和という「文化」

③そしてまた「つかむ」  
=使ったからこそみえるものがある

ここからはワークです

11月に  
行った  
こと

人間にとって必要なものは何か

人間の必要を奪うものは何か

今日の  
クオーク

①時代をつかむ  
今はどんな時代か

②問題をつかむ  
私たちは何に苦しんでいるか

③ニーズをつかむ  
私たちは何を求めているか

④どうやってつかむか  
鳥の目、アリの目、魚の目

前回を  
思い出す



ご清聴ありがとうございました

(Slide 3)  
<https://thebulletin.org/doomsday-clock/current-time/>

Credits and Copyrights

①今はどんな時代だと思いますか？

②私たちは何に苦しんでいると思いますか？

③私たちは何を求めていると思いますか？